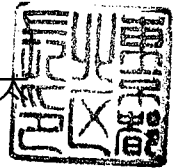


20北ま工第1588号
平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

東京都北区長

花川 與 惣



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃より北区の道路行政に対しましてご支援、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付国道企第37号にて、依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

担当：北区まちづくり部工事課 荒田

電話 03-3908-1111 内線 2930

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

東京都 北区

・都市再生や活力ある地域づくりを実現し、国際競争力の強化を図るため、社会資本整備重点計画の実現に向け道路整備を推進すること

・災害に強いまちづくりや、良好な居住環境を実現するため、高い整備効果が期待される街路事業、土地区画整理事業及び市街地再開発事業をより一層促進すること

・都市における喫緊の課題である交通渋滞を解消し、日本経済の高コスト構造の是正や環境改善を図るため、環状道路など幹線道路ネットワークの整備や連続立体交差事業を積極的に推進すること

・これらの緊急課題に対応した都市基盤整備を積極的に推進できるよう必要な予算を確保すること。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

東京都 北区

○現 状	○課 題
・東京都全域における道路ネットワークが未完成であり、特に東京区部では主要な幹線道路網の未整備区間が散在しており、都市計画道路並びに主要道路がネットワークとしての機能を十分に果たしていない状況にある。そのため、主要幹線道路における慢性的な渋滞とそれに伴う生活道路への自動車交通の流入が多々発生している。	これらの課題解決を図ることが真に求められており、都市計画道路をはじめとする主要幹線道路の早期完成が必要となっている。
・過去の都市基盤形成の過程において、電線類に関しては施工性、経済性のみを優先したため、景観面、効率面での考慮は行わず架空配線となった経緯がある。その結果、道路上空は電線類の乱雑が都市景観を台無しにしてしまった。	バリアフリーや防災性を考慮した良好な都市空間を築くため、電線類の地中化は近々の課題である。特に緊急輸送路や主要駅周辺道路においては早急に無電柱化を進め、都市防災機能の向上、ユニバーサル社会の実現、商店街の活性化を図る必要がある。
・社会生活において、環境に優しい自転車は必需品となっているが、その運転マナーは最悪たる状況を呈している。運転者のマナー向上は当然としながら、歩行者や車イス利用者の安全を確保することが求められている。	その対策として、自転車専用道、自転車専用レーンの整備を推進し、安心安全かつ快適な歩行空間の創出に努める必要がある。
・高度成長期に整備した道路及び橋梁においては、その更新時期を一齐に迎えてきている。その更新には莫大な費用を要し、自治体の財政状況をさらに圧迫化することとなる。	そのため、早急にライフサイクルコストを最小限に抑えるためのアセットマネジメントシステムを導入し、経済性、効率性に富んだ改修計画策定を全国展開することが必要である。それに基づき各自治体の実施する整備に関しては、補助財源等の支援策を構築すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

東京都 北区

2008年東京都が策定した「10年後の東京都」実行プログラムおよび2005年策定の北区基本計画において、提唱している前述課題(様式②)に対する都市の将来像を以下に示す。

- ・東京の最大の弱点である渋滞を解消する三環状道路等の整備促進
- ・電柱の無い街並みの形成
- ・誰もが快適に利用でき環境負荷の少ない交通ネットワークの展開
- ・更新期を迎える膨大な社会資本ストックのマネジメント
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	・都市計画道路及び主要道路の新設・拡幅整備	道路ネットワークを形成することにより、移動や物流の効率化が図れ、燃料や経費、所要時間の減少につながり、経済効果に寄与する。 災害時の避難や緊急支援物資の輸送に貢献するとともに、幹線街路沿いの民間開発による延焼遮断効果も期待できる。 利便性の高い広幅員道路の整備による住環境の向上と土地評価の高まりによる住民意識の改革が望める。	
・良好な生活空間・自然環境の形成	・電線類の地中化整備 （無電柱化計画の推進）	緊急輸送路や主要駅周辺道路においては優先的に無電柱化を進めることにより、都市防災機能の向上、ユニバーサル社会の実現、快適な都市景観の創出、商店街の活性化が図れる。 また、次世代型電線共同溝の技術革新により、主要生活道路における無電柱化を推進し、快適な生活空間を生み出すことで、地域コミュニティの活性化がより一層推進するものと考ええる。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

東京都 北区

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・バリアフリー施設の整備促進	歩道のセミフラット化及び余裕ある有効幅員の確保、地形的高低差のある箇所におけるエレベータ等の設置、道路としての階段を斜路に変えるなど各種バリアフリー施策を実施することにより、ユニバーサル社会の実現に近づくことが出来、車イス利用者、障害者、乳幼児を連れている方、さらには今後急増する高齢者に対して、移動の円滑化が図れ、誰もが負担の少ない社会生活を送れることに繋がる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・自転車専用道や自転車専用レーンの設置	歩道内を無秩序に走行する自転車に起因する歩行者等との接触事故や交通事故に対して、都市部の広幅員歩道においては自転車専用道を、また歩道に余裕の無い道路においては自転車専用レーンを車道部に設置することにより、車イス利用者や乳母車使用者、障害者、高齢者などの交通弱者や一般歩行者の安全確保が可能となる。	

